

令和7年度第2回清瀬市災害医療救護協議会 会議録

1 開催日時

令和8年2月13日（金）19時30分から20時30分まで

2 場所

清瀬けやきホール 2階 第3会議室

3 出席者（※順不同）

(1) 委員

- 清瀬市医師会
- 東京都清瀬市歯科医師会
- 東京都柔道整復師会北多摩支部
- 東京都訪問看護ステーション協会清瀬支部
- 東京都多摩小平保健所（代理）
- 警視庁 東村山警察署（代理）
- 東京消防庁 清瀬消防署（代理）
- 清瀬市災害医療コーディネーター（公益財団法人結核予防会 複十字病院）
- 清瀬市総務部長
- 清瀬市生涯健幸部長

(2) アドバイザー

- 独立行政法人国立病院機構 東京病院
- 公益財団法人結核予防会 複十字病院
- 医療法人財団 きよせ旭が丘記念病院
- 医療法人社団雅会 山本病院

4 欠席者

- 清瀬市薬剤師会
- 清瀬市災害医療コーディネーター（独立行政法人国立病院機構 東京病院）

5 事務局

- 総務部防災防犯課
- 生涯健幸部健康推進課

6 会議内容

(1) 開会

① 会長の選任

委員から会長を選出。

② 副会長の選任

会長から副会長を選出。

(2) 委員の紹介

(3) 議事

ア 令和8年度清瀬市総合防災訓練及び災害医療救護訓練について

○総合防災訓練

日時 令和8年10月25日（月） 9時～11時40分頃まで

場所 主会場：清瀬市立清瀬第三小学校

災害医療救護訓練：複十字病院にて決定

イ 雨天時における災害医療救護訓練の実施について

雨天実施のメリットデメリット（リスク）について説明し、雨天実施時に起こりうる課題を検討。実施パターンを3つ提案し協議した。

○通常実施案（晴天・曇天）

○雨天時限定プログラム案（予想降水量目安 5mm 未満）

○完全中止（荒天又は警報発令時。予想降水量目安 5mm 以上）

《質疑・意見》

委員：雨天時であっても実施するメリットを重視し、可能な限り実施するべきではないか。

事務局：雨量や状況に応じて、実施パターンにはめこんで実施していきたい。

会長：風の強さの予報も確認する必要がある。

会長：雨具の装備は各自でするのか。

事務局：持参でお願いしたい。購入の場合は、予算要求からとなり、時間を要する。

委員：実施パターンと、総合防災訓練の実施有無は連動しているのか？

事務局：雨の場合は、総合防災訓練と災害医療救護訓練は切り離して考えている。

委員：清瀬市内に警報が発令された場合、消防は水防態勢として待機することとなる。清瀬市だけでなく他市の天候も影響してくる。消防側の参加可否は別の検討試料となる。

ウ 災害時要配慮者への対応について

東京都災害医療協議会において、令和６年度中の訓練において検証した結果、災害時要配慮者への対応が求められる旨結論付けられた。これに対し、市区町村レベルで、災害関連死を防ぐための医療（治療）と保険・福祉（予防）の連携体制の構築が必要となった。

令和８年度より、本協議会に市の福祉部局を加え、新たに災害時要配慮者医療提供部会の設置に向けた検討を行う。

《質疑・意見》

委員：福祉の話が中心であるのであれば、本協議会とは趣旨が違うのでは。

別の組織体にする必要があるのでは。

会長：本協議会には、災害時要配慮者への対応の検討に必要な委員がそろっている。新たに立ち上げるよりも、本協議会のノウハウも含めて利用したほうが効率が良い。

事務局：災害時要配慮者に関しては福祉部局がデータを握っているため、福祉部局が中心となる予定である。令和８年度１回目から福祉部局の担当部長に参加を依頼する。

エ 医薬品の備蓄状況について

東京病院と複十字病院、及び清瀬市薬剤師会と、災害時に必要な備蓄医薬品を選定し、今後ストックする医薬品リストについて報告した。

《質疑・意見》

委員：これ以外に小児についての薬剤及び資機材が必要となる可能性がある。

委員：薬剤の備蓄場所はどこになるのか

事務局：できれば４病院に置きたい。優先度の高いものから購入していく。

委員：病院の薬局に許可を得ないとできない。それぞれ市と病院間で協定を締結してほしい。

７ その他

(1) 次回の開催は、令和８年７月頃実施予定となった。

(2) トリアージ研修会は、９月下旬頃開催予定となった。